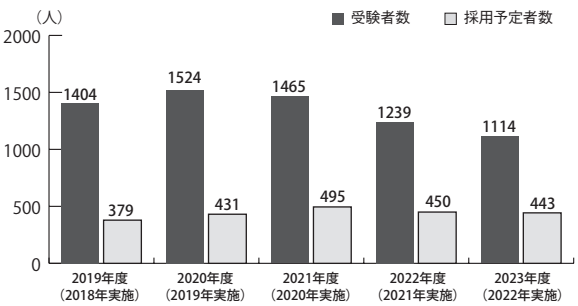
File No. 06

大分県

面　積	6,341㎢
人　口	1,097,477人
県の花	豊後梅
県の木	豊後梅
県の鳥	めじろ

求める教員像	①専門的知識をもち，実践的指導力のある人 ②使命感にあふれ，高い倫理観と豊かな人間性をもつ人 ③柔軟性と創造力をそなえ，未知の課題に立ち向かう人 ④学校組織の一員として考え行動する人
出願期間	公開日　5月2日（火） 電子申請　5月8日（月）9:00～5月29日（月）17:15
試験日程	1次試験 試験日　7月9日（日）　　合格発表日　7月24日（月） 2次試験 試験日　8月5日（土）～12日（土）の指定した日　　合格発表日　9月15日（金）
年齢制限	昭和39年4月2日以降に生まれた者
募集教科	**[小]　[小中]** 算数・数学，理科，音楽，保健体育，英語　**[中]** 国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語　**[高]** 国語，地理歴史（世界史，日本史，地理），公民，数学，理科（物理，化学，生物），保健体育，音楽，美術，書道，英語，家庭，農業（作物・園芸，畜産），工業（機械，電気，土木，建築，工業化学），水産（機関，航海），商業，情報，福祉　**[特]**（小）（中）（高）　**[養]　[栄]**
特記事項	**■特別選考　●特別選考Ⅰ（障がい者特別選考）**　試験内容等は一般選考と同じ。障がいの種類や程度に応じた受験上の配慮を行う。**●特別選考Ⅱ（社会人特別選考）**　[小・小中・中・高] 志願者で，民間企業等において常勤職員として令和5年4月1日現在3年以上継続して勤務している者は，1次の教職・一般・専門に代えて小論文を実施。**●特別選考Ⅲ（スペシャリスト特別選考）**　[高] 志願者のうち，スポーツの指導者として規定の要件を満たす者は，1次を免除，2次はプレゼンテーションと面接を実施。**●特別選考Ⅳ（他県教諭特別選考）**　大分県以外の国公立の正規教員（志望する試験区分と同一区分）として令和6年3月31日時点で3年以上勤務しており，現在，国公立の正規教員（同）又は都道府県教委・市区町村教委の正規職員である者は，1次を免除，2次は面接のみ。**●特別選考Ⅴ（元県内正規教諭特別選考）**　過去に大分県内の国公立の正規教員（志望する試験区分と同一区分）として3年以上勤務した者は，1次を免除。**●特別選考Ⅵ（教職大学院修了（予定）者特別選考）**　教職大学院修了（予定）者は，1次を免除。 **■免除**　次の①，②のいずれかの該当者は，1次を免除。①令和4年度1次及び2次合格者で，同一の試験区分及び教科・科目等を受験する者。②令和5年度1次合格者で，同一の試験区分及び教科・科目等を受験する者。 **■併願**　規定の試験区分及び教科・科目等の組合せに限り，併願可能。

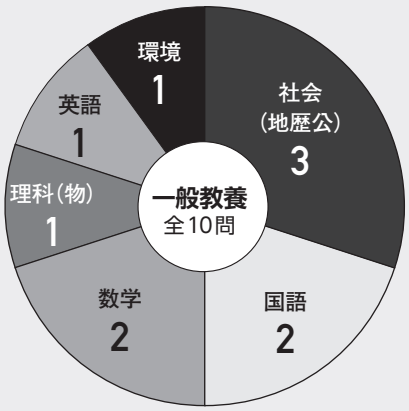
▼受験者数等推移

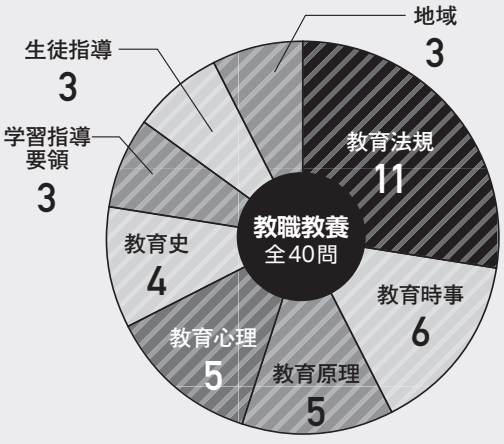


▼令和3年度　問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ（件）	8,692	1,615	130
不登校（人）	707	1,708	842

2024年度（2023年実施）筆記試験DATA





＊「地域」には「教育時事」も含まれる。

- ▶ 教育時事で必出のご当地問題
- ▶ 教育法規は教育基本法
- ▶ 人文科学では国語全般と英語（会話文）

〈教職教養〉では例年，五択形式で幅広い分野からまんべんなく出題されており，今年度も同じような傾向であった。

学習指導要領では総則が必出であり，今年度は昨年度に続いて「第3 教育課程の実施と学習評価」が出題された。

教育原理（学習指導法，特別支援教育等）のうち，学習指導法ではバズ学習に関する問題がみられた。特別支援教育では，昨年度に続いて「障害のある子供の教育支援の手引」（2021年）等が出題された。

生徒指導では改訂されたばかりの「生徒指導提要」（2022年）が必出である。今年度はまえがきや生徒指導の定義から出題された。また，「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について（通知）」（2023年）等も出題された。

教育時事では，「次期教育振興基本計画について（答申）」（2023年）や「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について（答申）」（2022年），「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」（2021年）」等に関する問題がみられた。また，必出であるご当地問題も複数出題された。

教育法規では必出の教育基本法が出題された。また，頻出の憲法や学校教育法，いじめ防止対策推進法等のほか，新法のこども基本法も出題された。

教育心理では，アタッチメント，エリクソン，試行錯誤学習，ハロー効果，ロールシャッハ・テストについての問題がみられた。主要な理論とその特色，提唱者を幅広く押さえたい。

教育史では，19～20世紀の人物（モンテッソーリ，ケルシェンシュタイナー，新島襄，羽仁もと子）に関する問題が出題された。

〈一般教養〉のうち，**人文科学**では例年，国語と英語（会話文）を中心とした出題となっており，今年度も同様の傾向であった。**社会科学**では幅広く出題されており，今年度は日本史（奈良時代），地理（鉱工業，貿易），倫理（西洋近代）から出題された。**自然科学**では例年，数学（平面図形等）と理科全般から幅広く出題されており，今年度も同様であった。